

- M：そのように高い評価をいただきありがたい。私どもも、ミラノは都市としてはイタリアで２番目だが、都市機能としては１番であると自負している。
- M：2011年は大阪市とミラノ市が姉妹都市提携して30周年になる。ミラノ市と大阪市がこれから先の交流を深める上で、大変重要な瞬間が来ていると考えている。この時に、大阪市の市会議長をお迎えできたことは名誉と考えており、様々な分野で議会として協力していきたいと考えている。
- O：私もこの時期にお会いできて嬉しい。先ほど城守総領事ともお話したが、パルメリ議長は総領事とも友好関係を結ばれており、本日は城守総領事にも御同席いただき、大阪市としても心強く感じている。
さらに、先ほど、エレベータ前のホールに、私どもが20周年の際にお渡しした書「友好」が飾っており、非常にありがたく感じている。
- M：私も毎朝、あの文字を見て出勤し、仕事をしており、いつも大阪を感じている。私どもとしては2011年4月11日に議員選挙が行われる関係上、2010年9月から2011年3月までの間で相互の訪問団の派遣を行いたいと考えている。ご意見をお聞かせいただきたい。
- O：実は私どもも来年選挙がある。選挙は4年ごとに行われ、選挙日は4月の第2日曜日になる。提携が1981年6月である関係で、私どもの30周年事業は2011年度に行われる。すなわち新体制で対応し、2011年4月以降の実施となるため、今、ここで私が大阪からミラノへの訪問団について約束することは難しい。勿論来阪いただくことについては、喜んで協力させていただく。
- M：当方としては、私の任期中に訪日したいと考えている。そのため時期的には9月、もしくは来年の3月の訪日を予定している。
- O：先ほど申しあげたとおり、来ていただくのは今年中でも大歓迎させていただく。9月であれば、資料でお渡しした「リビング・デザイン展」が大阪で開催される。デザイン・ファッション界では、ミラノはパリと並ぶ双璧であり、是非ミラノの方に見ていただきたい。この展覧会は今年、ミラノの雑誌にも紹介されている。
- M：(リビング・デザイン展を紹介する雑誌を見ながら)なるほど、これは素晴らしい見本市だと思う。大阪への訪問はこれに合わせて行ってもよい。私も是非参加し見に行きたい。大阪からの訪問は2011年4月以降とお聞きしたが、出来れば相互に行きたいので、小さな訪問団でも来ていただくことは出来ないだろうか？
- O：出来れば4月以降にしたいのだが、議長の熱意は理解した。大阪でその旨を伝えることにする。ただ、可能性としては難しいことは、ご理

解いただきたい。

M：今年難しいことは理解した。また、私の熱意を受け取っていただいて嬉しい。私どもの訪日は9月を中心に考えるので、その節は是非ご協力賜りたい。本日は訪問いただき、またこのような有意義な対談が出来て非常に嬉しい。ぜひ、次回は大阪でお会いしたい。

O：私もお会いできて光栄である。是非大阪でお会いしたい。心からお待ちしている。



ミラノ市会議場、城守総領事と共に



パルメリ議長と姉妹都市提携30周年記念事業について意見交換

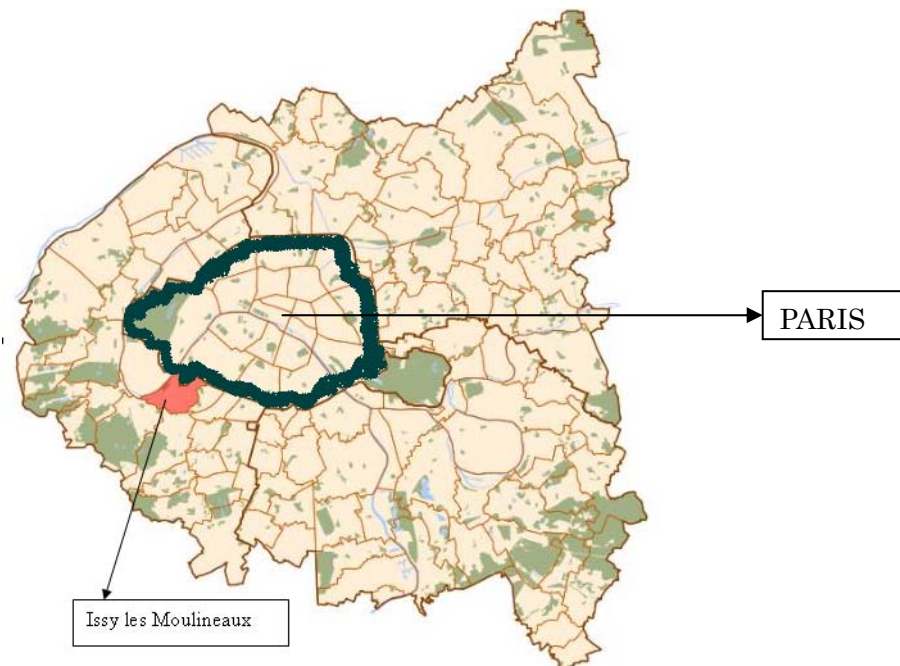
2月9日(日)

イシーレムリノー市(フランス)

★ イシーレムリノー市について

○ 概要

- ・ 西暦 558 年に、王シルドベールー世がパリのサンジェルマン・デ・プレのベネディクト派の僧に土地を譲ったという寄付証書の中に、イシーという名前が記載されたことが今日のイシーレムリノー市の語源である。
- ・ 中世時代は僧院のブドウ畑の開墾が奨励され、14 世紀にはパリの貴族たちの別荘地となり、例えば、アンリ 4 世の最初の妻、マルグリット・ド・ヴァロワは非常に贅沢な暮らしをこの地で行っていた。
- ・ 1789 年のフランス革命の際、市役所は仲介役として大きな役割を果たし、いくつかの修道会・宗教団体がパリの暴動から逃れてこの土地に集まってきた。
- ・ 19 世紀半ばには、パリの産業が発達するにつれ、地方からの出身者がパリに隣接するこの地に住み着き人口が急増した。
- ・ 1893 年、隣接していたムリノー村との合併から、今日の名がつき、工場が増え農業が衰退していく。



- ・ 20 世紀に入り、フランスの誇る巨匠オーギュスト・ロダンやアンリ・マティスがこの街で制作活動を行った。第 1 次大戦以降、工場が急激に増えたが、1960 年代には工場は郊外に移転し、逆に第三次産業の本社が集積し、世界有数のデジタルシティへと変貌した。
- ・ 現在、人口 6 万 1 千人に対して雇用件数 7 万件、1999 年からの人口増加率 14%とイシーレムリノー市は飛躍的な発展を遂げており、情報科学やコミュニケーションの分野で活躍している企業が 57%を占める。

★ サイバーシニア

○ 応対者

- ・ Ms. Martire Picoit サイバーシニアサービス責任者
- ・ Mr. Sebastien Masson イシーレムリノー市国際交流担当

○ 概要

- ・ 「サイバーシニア」は、高齢者が気軽にインターネットをはじめとした IT 社会に溶け込めるように、また、市役所が推し進めている e-city に馴染めるように設立された施設である。
- ・ 午前中は授業、昼からは自由時間を設けて講師に自由に意見を聞いたり、みんなで話し合える憩いの時間を取るプログラムを提供し、来館される高齢者が快適に過ごせるよう、そしてコンピュータ漬けにならないように配慮がなされている。
- ・ 来館者が新しい授業を受けられるように、四半期ごとに新しいプログラムが発表される。月曜日から金曜日まで営業しており、週末は休館である。
- ・ 約 1 年前に開館し、現在では年間を通して約 200 人の高齢者がこの施設を利用している。
- ・ 場所は市から借りており、賃料については非公表である。1901 年制定の団体法に基づいて設立されている非営利団体が市と委託契約を締結して団体を運営している。
- ・ 団体には市の職員が 2 名出向し、運営を行っている。講師はすべてボランティアである。6 人 1 組でレッスンは行われ、1 回、1 時間 15 分の授業である。
- ・ 入会金は 16 ユーロ(約 2,080 円)であり、この入会金を支払えば、市が同団体と一緒にしている他のイベントにも参加できる。また、授業料は年間 20 ユーロ(約 2,600 円)である。**【1 ユーロ＝130 円で換算、以下同様】**

- ・ 高齢者が分かりやすいように、講師の写真入りのプロフィールを配ったり、プログラムの簡単な説明を付して受講者に配っている。2 ヶ月もすれば、ほとんどの受講者は一定のレベルに達しており、受講者からも高い評価を得ている。



サイバーシニア入口にて、イシーレムリノー市マッソン氏と



当日も少人数制のレクチャーが行われていた

★ イシーレムリノー市役所

○ 対応者

- | | |
|------------------------|------------------|
| ・ Mr. Andre Santini | イシーレムリノー市長 |
| ・ Mr. Eric Legale | イシーレムリノー市 IT担当局長 |
| ・ Mr. Sebastien Masson | イシーレムリノー市国際交流担当 |

○ 概要

- ・ 訪問した建物は議会と市長室のみが入っており、18 世紀王政時代の建築物で、当時の持ち主はエリゼ宮殿と同一の貴族であった。現在の建物は 1994 年に改修され、議場は最先端の I T 技術が施されている。
- ・ 現在、イシーレムリノー市は世界のトップ I T 都市として名高く、Global Cities Dialogue にも加盟している。2005 年と 2007 年にパシフィック・テレコミュニケーションズによって世界のインテリジェント・コミュニティ・ベスト 7 に選ばれた。
- ・ フランスの主要テレビ局の本社の多くが市内に立地しており（France 24、France5、Canal+ 等）、この市からフランス中に各テレビの番組が配信されている。
- ・ また、ラ・トリュビューン、マリクレールグループ、モンダドリ等の大手出版社も拠点を構えており、マイクロソフト、オランジュやブイグテレコムといった通信産業の本社も集積している。
- ・ 現在人口約 61,000 人に対して、就労人口が 70,000 人であり、隣のブローニュ市と合わせると小規模の EU 加盟国の GDP にも匹敵する。
- ・ 10 年以上前に、現サンティニ市長のビジョンであるデジタルシティ構想に着手し、I T 関係企業の誘致や I T 施策を展開していった結果、フランス最先端の I T 都市となった。
- ・ 例えば、1998 年 1 月イシーレムリノー市の大企業を対象に複数の電話会社が回線工事を行い、市民に対しても、99 年 11 月に ADSL 回線、次にケーブルテレビへのアクセスが可能となった。さらに 2006 年には、電話回線とケーブル回線へ 100 メガにいたる光ファイバーが導入されている。
- ・ 最近の新たな取り組みでは、2009 年 12 月 15 日から携帯電話を使って市営駐車場の料金を支払えるシステムが運営されている。
- ・ 現在、市民の 85% がインターネットにつながっており、つながっていないのは非常に高齢の方（85 歳以上）又は老人ホームの入居者である。
- ・ 2000 年からサイバー保育園が誕生し、インターネット上の細かな情報により、父兄に保育園での活動内容を把握してもらい、お誕生会などの催し物に、セキュリティ対策の取られたビデオ会議のシステムを利用し、父兄の参加を呼びかけている。
- ・ イシーレムリノー市では、女性の 90% が就労しており、3 ヶ月の子どもから保育所に預けることが出来る。両親が子どもの様子をいつでもどこからでも見る事が可能で、また離れていても特殊な行事にネット上で参加できるこのシステムは、大変好評を得ている。

- ・ 現在、希望者の 70%は保育園に預けることができおり、オードセーヌ県では最高水準である。
- ・ その他、生徒や青年を対象に、インターネットに触れることができる機会を学校や市の施設等で提供している。
- ・ 2009 年の 7 月から選挙人名簿のオンライン登録を行うことを発表したところ（国より実験都市として選ばれた）、開始から 6 ヶ月で、20%がオンライン登録した。現在、選挙についてもオンラインで可能かを研究しており、実現できれば投票率も上がると考えている。
- ・ 議会は街のケーブルテレビで放映されているが、市の行事や施策を紹介するテレビ局を作ったのは本市がフランスでは初めてである。
- ・ また、2006 年より、都市計画や進行中の計画について、市民がコンピュータを通して自分の意見を残したり、質問を行えるシステムを構築し、市民の政治への積極的な参加を促している。
- ・ 市民は e-mail や無料電話で議員に質問することができ、これを受けた議員は直接あるいは書面で回答することとなっている。
- ・ そして、市民の意見を議員の決断に活かすためのネットワーク上のシステムとしてパノー・シトワイヤンがある。これは、市が検討中の地域問題に関して、独立した世論研究所が管理するパネル調査の結果を年 3、4 回議員が参照するものである。
- ・ 2009 年のイシーレムリノー市への H P アクセス件数は 120 万件である。
- ・ 最近では e-administration を実施し、オンラインであらゆる申請ができるようになり、また、どの施設でもオンラインで手続きができるようになっている（わざわざ、用件違いのために、次の施設に行く必要がないようにしている。）
- ・ 市民がネットから役所の受付窓口に対して直接質問することができるシステムも構築している。また、気軽にインターネットにアクセスできるように、集会場、メディアライブラリー、児童遊戯館、行政センターなどのあらゆる施設に無料でインターネットのアクセスを提供している。
- ・ このように先進都市イシーレムリノー市を推し進めるために、2005 年 6 月、サンティニ市長とフランステレコム社のロンバール会長は「先進都市協定」に署名し、市はフランステレコムによる最新技術を優先的に利用できるようにしている。
- ・ そしてマイクロソフト社もイシーレムリノーの住民と企業のために協力しあうことを目的とした提携協約を結んでおり、このように大企業の力を利用した街づくりを推進している。



世界中から注目される IT 施策を推進するサンティニ市長と対談

○ 市の立地について

- ・ パリのすぐ隣に位置するイシーレムリノー市には、パリと結ぶ地下鉄及びトラムが走っており、パリへの通勤が容易である。
- ・ トラムは朝、夕 50,000 台の車通勤を減らす役割もしており、交通渋滞緩和策の一つとして、市長が推進してきた施策の一つである。
- ・ サンティニ市長は国会議員でもあり、以前は国会の副議長も務めたほどの有力者である。そのため、国に対しての発言力が強く、様々な新しい施策を取り入れるために、国に申し入れて、補助金を取ってきて実施している。
- ・ なお、市長は国会議員も兼ねているため、国会議員の給与のみ支払われており、イシーレムリノー市からの報酬はない（二重で受け取ることができない）。

○ 学校について

- ・ イシーレムリノー市には 28 の小学校があり、約 5,000 人の生徒が通っている。国際化を進める本市では、第 3 外国語の選択肢に中国語を入れている。
- ・ 幼稚園から高校まで第 3 外国語は選択できる。幼稚園では週一時間 30 分の授業からスタートし、現在約 500 名の生徒が中国語を勉強しており、高校を卒業したのち、中国語をさらに勉強するために進学したり、習得したスキルを活かして就職につなげたりする者も多い。
- ・ 中国語を教えている市として、中国に馴染みがあることから中国大使館関係者も多数居住している。北京で一番古い高校とも交換留学制度を実

施している。

- ・ 市長はアジア最良であり、日本語についても同じように行いたいと話された。
- ・ 教員はすべて国家公務員である。

○ その他

- ・ 最新の I T 機器が駆使された議場は議会だけではなく、大手企業がビデオ会議を実施できるように有料で提供している。
- ・ 現在、ヨーロッパで一番新しいごみ焼却施設を持っており、世界中から視察者が来る。建物の 3 分の 2 が地下にあるため、施設が分からず、施設の目の前でどこにあるのかを尋ねられるほどである。また、ごみ空気輸送システムも計画中である。ここも、いつか視察に訪れていただきたい。



IT 設備の整った近代的な議場



最新の IT 都市施策について活発な意見交換を行う



イシーレムリノー市役所、大阪市パリ事務所の皆さんと



由緒あるイシーレムリノー市役所の前で、サンティニ市長と共に

2月10日(水)

コペンハーゲン市(デンマーク)

★ 在デンマーク日本国大使館

○ 対応者

- ・ 近藤誠一 在デンマーク日本国大使

○ 概要

- ・ デンマークは、バルト海と北海に挟まれたユトランド半島とその周辺の多くの島々からなる国である。なお、グリーンランドもデンマーク領である。
- ・ 国内経済、教育水準ともに世界トップクラスの国であり、医療費無料制度、世界最高水準の国民一人当たりの国内総生産、高い教育レベルなどから、複数の評価機関から「世界で最も幸福度の高い国」に選ばれている。
- ・ 人口は約 550 万人。EU加盟国であるが、ユーロ圏には参加しておらず、通貨はデンマーククローネである。
- ・ 知育玩具レゴや陶磁器ロイヤルコペンハーゲン、風力発電機のヴェスタスなどが有名だが、世界最大のコンテナ船企業、APモラーの本社地でもある。
- ・ 農業輸出国としても有名で、日本の輸入の約半分以上を豚肉が占める。
- ・ また、北海油田の一部を有し、石油自給率は 100%を超え、原油、天然ガスも輸出している。また、グリーンランドには豊富な金属鉱床があると言われている。
- ・ このように化石エネルギー資源に恵まれながらも、風力発電が盛んで、個人の共同所有方式も浸透しており、総電力供給量の 2 割を風力発電が占める。
- ・ 国民人口の殆ど(約 500 万人)がデンマーク民族で、単一民族国家に近い構成になっており、アジア、中東からの急激な移民増加による社会問題が発生した影響で、欧州一と言われる厳格な移民法が制定されるなど、移民政策では消極的である。
- ・ 童話でおなじみのアンデルセンの母国で、日本とも馴染みがある。また倉敷にあった倉敷チボリ公園は、コペンハーゲンのチボリ公園を模していた。